

第11回小児がん中央機関アドバイザリーボード会議
2025/3/4

医療従事者育成事業

「小児緩和ケアチーム研修会」

PPC 15 (Pediatric Palliative Care 15)
2025.2.8. (Sat.)

小児がん中央機関の役割

H24年9月7日（H26年2月5日最終改正）厚生労働省健康局長通知

- (1) 小児がんに関する相談支援の向上に関する体制整備を行うこと。
また、小児がん患者・経験者の発達段階に応じた長期的な支援のあり方について検討すること。
- (2) 小児がんに関する情報を収集し、広く国民に提供すること。
- (3) 全国の小児がんに関する臨床試験の支援を行うこと。
- (4) 小児がん拠点病院等に対する診断、治療などの診療支援を行うこと。
- (5) 小児がん診療に携わる者の育成に関する国内の体制整備を行うこと。
- (6) 小児がんの登録の体制の整備を行うこと。
- (7) (1)から(6)の業務にあたっては、患者、家族及び外部有職者等による検討を踏まえて行うこと。

小児緩和ケアチーム研修会

・2018年から開始

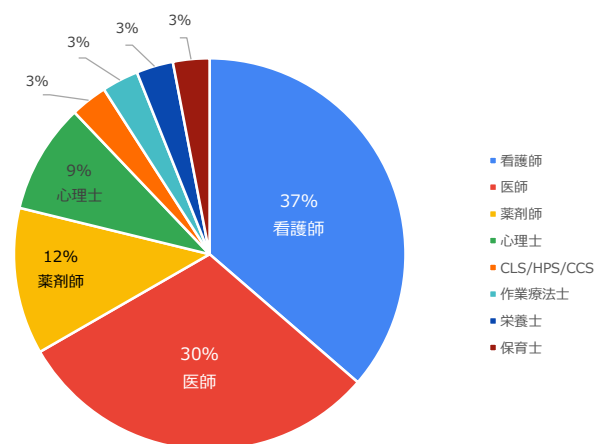
2018年度	緩和ケアチーム研修（多職種チーム研修）	51人
2019年度	緩和ケアチーム研修（多職種チーム研修）	91人
2020年度	緩和ケアチーム研修（多職種チーム研修）	104人
2021年度	緩和ケアチーム研修（多職種チーム研修）	82人
2022年度	緩和ケアチーム研修（多職種チーム研修）	64人
2023年度	緩和ケアチーム研修（多職種チーム研修）	61人

・研修会の目的

- ・専門的小児緩和ケア診療のスキルを上げる
- ・小児緩和ケアのつながりを作る
- ・現状把握とこれからの取り組みについて考える

2024年度 15施設 36人

北海道大学病院
東北大学病院
宮城県立こども病院
長野県立こども病院
茨城県立こども病院
埼玉県立小児医療センター
東京都立小児総合医療センター
神奈川県立こども医療センター
静岡県立こども病院
名古屋大学医学部附属病院
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院
三重大学医学部附属病院
大阪大学医学部附属病院
京都大学医学部附属病院
九州大学医学部附属病院



雪のため急遽ハイブリッドに変更

タイムスケジュール

時 間	プログラム
12:30-13:00	受付
13:00-13:10	挨拶・本日の案内
13:10-13:40	参加施設紹介
13:40-15:15	テーマ1：緩和ケアチーム活動 それぞれの小児緩和ケアチームのコンサルテーション活動の実践を共有し、今後の自施設における取り組みの参考にする テーマ2：診療報酬改定 小児緩和ケア診療加算の新設に伴いどのように対応しているのか、各施設の取り組みを共有し、今後の診療報酬改定に向けた課題を整理する
15:15-15:30	休憩
15:30-16:20	職種別グループワーク ・緩和ケアチーム内での役割の工夫
16:20-16:30	挨拶、アンケート記入

小児緩和ケア診療加算の取得状況

- 取得しているのは7/16施設（44%）
- 課題
 - 常勤精神科医の確保
 - 制度上グレーな点が多い
 - 非がん疾患への加算がないこと
 - 加算と実際の活動の乖離

課題と感じていること

- スタッフ確保の難しさ
- 各診療科からの理解促進
- 倫理的な課題への対応
- 知識経験の向上の必要性

中央機関に求める支援

- 各施設の小児症例における緩和的治療のデータ集積、有効活用
- 事例やチーム運営等のスーパーバイズをいただける機会
- 緩和ケアチーム同士でオンラインで学び合える場所
- 最新の緩和ケアに関する情報提供

今後の方向性

- 「小児緩和ケアチームのデータベース構築」 （成育医療研究開発費）
 - 介入患者の全数登録のシステムの構築
- 緩和ケアチームの実態調査（厚労科研）
- 周産期緩和ケアについて考える会